令和7年度放課後等デイサービス 保護者等向け評価アンケート 実施報告

1. 実施概要

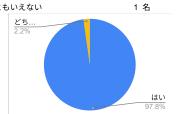
実施事業者/事業所: 株式会社Kaien ティーンズ北浦和 実施期間: 令和7年10月1日~10月31日 回答者 : 放課後等デイサービス利用者保護者

45 名 回答者数: 回答率: 53.6 %

2. 回答結果

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか。

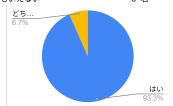
はい 44 名 いいえ 0 名 どちらともいえない



※①に関するご意見があればご記入ください

②職員の配置数や専門性は適切と感じられますか。

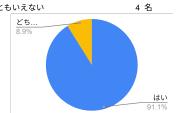
はい 42 名 いいえ 0 名 どちらともいえない 3 名



※②に関するご意見があればご記入ください

③事業所の設備等は、特性に応じた配慮がなされていますか。

はい 41 名 いいえ 0名 どちらともいえない



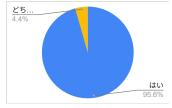
※③に関するご意見があればご記入ください

よく分からない

④子どもと保護者のニーズや利用終了後を見据えた課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されていますか。

はい 43 名 0 名 いいえ

どちらともいえない 2 名

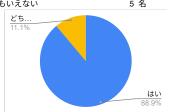


※④に関するご意見があればご記入ください

⑤プログラムは定期的に見直されていると感じていますか。

40 名 いいえ 0 名

どちらともいえない 5 名

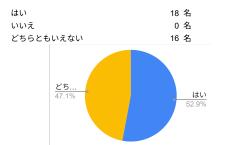


※⑤に関するご意見があればご記入ください

特に自分の意見を言わない息子は、何も思いつかず、自習場だという。

いくつかのテーマを出してもらい、 選んだものについて、トークや、シチュエーションにより、考え方、対応の違いがあることを 知り、実践してみる、とか、あったらなと 思いました。親からの話には聞けないので。

⑥ ティーンズ では地域を問わず同年代のお子さんと双方向に関ることができるオンライン講座をプログラムとして提供しています。このプログラムに内容に満足していますか。



※⑥に関するご意見があればご記入ください

利用していないので オンライン講座をまだ受けたことがありません。 よく分からない





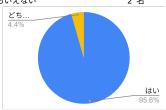
※⑦に関するご意見があればご記入ください

とち... 20.6% (はい 32.4%

不登校です 学校以外の交流はないと思います。

⑧支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか。

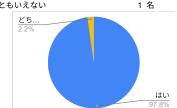




※⑧に関するご意見があればご記入ください

⑨日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか。

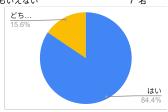
はい 44名 いいえ 0名 どちらともいえない 1名



※⑨に関するご意見があればご記入ください

⑩保護者に対し、学校や家庭での生活、将来を見据えた助言等の支援が行われていますか。

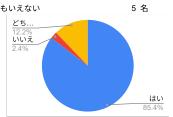
はい 38名 いいえ 0名 どちらともいえない 7名



※⑩に関するご意見があればご記入ください

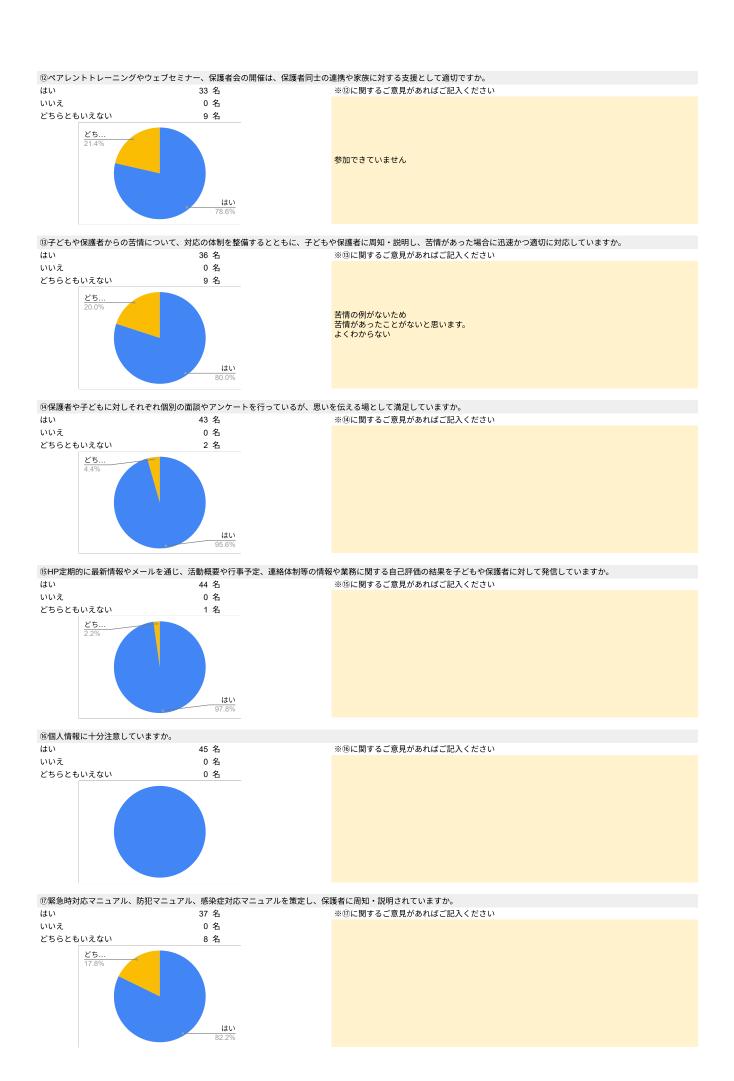
⑪学校や関係機関との連携は、必要に応じて適切に行われていますか。

はい 35 名 いいえ 1 名 どちらともいえない 5 名



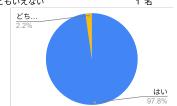
※⑪に関するご意見があればご記入ください

学校側が連携を望まない。



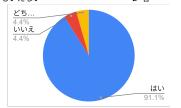
⑱非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。

はい 44名 いいえ 0名 どちらともいえない 1名 ※⑱に関するご意見があればご記入ください



⑲子どもは通所を楽しみにしていますか。

はい 41名 いいえ 2名 どちらともいえない 2名

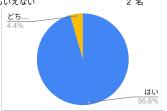


※⑲に関するご意見があればご記入ください

反抗期、すべてに冷めている状況にて 疲れているときや、交通手段によって、行きたくないと言う事もありますが、基本的に楽しみにして ると思います。

⑩ティーンズ にしかできないサービスが提供されていると感じますか。

はい 43名 いいえ 0名 どちらともいえない 2名



※⑳に関するご意見があればご記入ください

②ティーンズ の支援に満足していますか。

はい 45 名 いいえ 0 名 どちらともいえない 0 名



※⑳に関するご意見があればご記入ください

大変感謝しております。ありがとうございます。

3. 事業所考察

回答率は53.6%と、過半数の保護者様にご回答いただけました。心より感謝申し上げます。

全体的な傾向として、「⑪ティーンズの支援に満足していますか」の項目で回答者全員(45名)から「はい」とご回答いただき、「大変感謝しております」とのお言葉も頂戴しました。 他の多くの項目(スペース、職員配置、計画、情報発信など)においても9割以上の方が「はい」と回答されており、日々の支援内容や情報提供について、総じて非常に高い評価をいただけたものと受け止めております。

一方で、いくつかの支援内容については、「利用していない」「よくわからない」ために評価が「どちらともいえない」となっている項目が散見されました。 特に「⑥オンライン講座」や「⑫ペアレントトレーニング・保護者会」については、存在は認知されていても、利用や参加に至っていないケースが多いことが課題として明確になりました。

また、**「⑤プログラム内容」に関しては、「自習場のようだ」というご指摘や、より実践的なコミュニケーション練習(SST)を望むお声もいただきました。「⑩通所を楽しみにしているか」**の項目では、少数ながら「いいえ」「どちらともいえない」との回答があり、反抗期や疲れなど、思春期特有の気分の波への対応も課題と認識しております。

今後は、現状の高い満足度を維持しつつ、以下の点について重点的に取り組んでまいります。

周知の強化:オンライン講座や保護者会、各種マニュアル等、まだ十分に活用されていないサービスや体制について、利用メリットを含めた情報発信を強化します。

プログラムの質の向上:お子様の主体性を引き出すプログラムの提示や、ご要望のあった実践的なSST(ソーシャルスキルトレーニング)の拡充を検討します。

個別のニーズへの対応:思春期のお子様の動機づけや、将来を見据えた支援(⑩)など、個々の状況やニーズに合わせた、よりきめ細やかな対応を強化します。